

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL. (03) 5405-5851
大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL. (06) 7637-3468

2021年2月19日

中部圏における 2030 年に向けた 水素大規模利用の可能性検討結果と今後の取り組み

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金：350億円）が会員として参画する「中部圏水素利用協議会」は、2020年3月の設立以降、中部圏における水素の大規模実装と安定的な利用のためのサプライチェーン構築を目指し、具体的な取り組みについて検討を進めて参りました。

設立以降これまでに、中部圏の産業各セクターにおける水素需要ポテンシャルの試算、海外からの水素受入れ～需要地までのサプライチェーン、切替可能な水素コストの検証等を実施しました。

このほど、2030年を当面のマイルストーンとした検討結果『中部圏における 2030 年に向けた水素大規模利用の可能性検討結果と今後の取り組み』がまとまりましたのでご報告します。

当社は、1941年に水素の取り扱いを開始して以来、製造から輸送・貯蔵・供給・保安まで一貫した全国ネットワークを築いてきました。2006年に大阪府堺市に国内で初めての液化水素製造プラントを建設し、現在では年間1億2,000万 m^3 （3拠点・6プラント）の液化水素製造能力を有する日本で唯一の液化水素サプライヤーです。また、全国に保有している10カ所の圧縮水素工場などの事業基盤を活かし、日本の水素市場におけるシェアは70%となっております。水素のリーディングカンパニーとして、これまで培ってきた技術やノウハウを活用し、今後も水素エネルギー社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

添付資料：『中部圏における2030年に向けた水素大規模利用の可能性検討結果と今後の取り組み』

http://www.iwatani.co.jp/img/jpn/pdf/newsrelease/1384/20210219_document2.pdf

Iwatani